

## クラウドモデルを用いた短命領域の浮上速度の測定

### The measurement of ascent speed of the ephemeral active regions using the cloud model

# 大辻 賢一 [1]; 北井 礼三郎 [2]

# Kenichi Otsuji[1]; Reizaburo Kitai[2]

[1] 京大・理・宇宙; [2] 京大・理・飛騨天文台

[1] Astronomy, Kyoto Univ.; [2] Hida Obs., Kyoto Univ

短命領域 (Ephemeral Region:ERs) は小規模で短寿命な活動領域で、太陽表面に数多く出現している。  
この研究では、短命領域の浮上速度を Beckers の Cloud model を用いて計測した。

我々は京都大学飛騨天文台の SMART 望遠鏡を用いて短命領域を観測した。観測波長は H alpha 中心及び  $\pm 0.5$ 、 $\pm 0.8$  angstrom である。

SMART 望遠鏡は太陽全面を高空間分解能で観測可能であり、数多くの短命領域のデータを得ることができた。

結果として、我々は以下の2点を得た。

(1) 短命領域の浮上速度はおよそ 10km/s であり、これは通常の浮上磁場領域の上昇速度より小さい。

(2) 浮上が観測された時間は 20 分 ~ 1 時間程度。

より詳細な研究のためには、数多くの短命領域について統計的な解析を行なう必要がある。